

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-3-1	事業名	「食のまち」札幌の推進				
担当	経済局産業振興部経済企画課 大友 211-2352						
全体計画							
事業内容	【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】札幌洋菓子協会が中心となっている「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」への負担金を継続し、同協議会との連携を図り、「さっぽろスイーツ」のブランド化を図る。 【「食のまち」札幌の発信拠点整備事業】北海道の新鮮で豊富な食材を最大限に活用し、「札幌の食」を新たな都市ブランドとして確立するため、都心に食に関する発信拠点を整備する。 【食関連新技術導入促進事業】(財)北海道科学技術総合振興センターが、市内食品製造業者と協同で実施する新製品、新技術の研究・開発事業(モデルプロジェクト)に対して補助を行う(補助率2分の1)。 【見本市出展支援事業】全国規模の食品専門見本市や有力バイヤーを対象とした商談会への出展支援を行い、全国に向けて北海道の食の優位性をアピールしながら積極的に商品情報を発信することを通じて市内食品関連企業の販路拡大を目指す。 【「スイーツの街」発信事業】札幌のスイーツを切り口とするイベントとして「さっぽろオータムスイーツファンタジー」を大通公園で開催することで、「スイーツの街・さっぽろ」を推進し、小規模の業者が多いお菓子業界全体の活性化を図る。			<年度別の事業内容>			
	【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】札幌洋菓子協会が中心となっている「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」への負担金を継続し、同協議会との連携を図り、「さっぽろスイーツ」のブランド化を図る。 【「食のまち」札幌の発信拠点整備事業】北海道の新鮮で豊富な食材を最大限に活用し、「札幌の食」を新たな都市ブランドとして確立するため、都心に食に関する発信拠点を整備する。 【食関連新技術導入促進事業】(財)北海道科学技術総合振興センターが、市内食品製造業者と協同で実施する新製品、新技術の研究・開発事業(モデルプロジェクト)に対して補助を行う(補助率2分の1)。 【見本市出展支援事業】全国規模の食品専門見本市や有力バイヤーを対象とした商談会への出展支援を行い、全国に向けて北海道の食の優位性をアピールしながら積極的に商品情報を発信することを通じて市内食品関連企業の販路拡大を目指す。 【「スイーツの街」発信事業】札幌のスイーツを切り口とするイベントとして「さっぽろオータムスイーツファンタジー」を大通公園で開催することで、「スイーツの街・さっぽろ」を推進し、小規模の業者が多いお菓子業界全体の活性化を図る。			【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】平成19年度～22年度 協議会へ負担金を支出 【「食のまち」札幌の発信拠点整備事業】平成19～20年度 他施設との連携を含め、施設の場所、運営方法等を検討。平成21～22年度 20年度までの検討結果を踏まえ、発信拠点を整備 【食関連新技術導入促進事業】19年度…モデルプロジェクト2件への補助を計画。20～22年度…19年度と同様の内容で実施予定。 【見本市出展支援事業】平成19年度:FOODEX JAPAN 2008出展、平成20～22年度:スーパーマーケット・トレードショー出展、北洋銀行インフォメーションバザールin Tokyo出展 【「スイーツの街」発信事業】19～20年度 イベント「さっぽろオータムスイーツファンタジー」開催			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」へ負担金を支出した。同協議会では、スイーツコンペティション、スタンプラリーのほか、さっぽろスイーツPR事業を実施。 【「食のまち」札幌の発信拠点整備事業】市民まちづくり局企画課で進めている「都心部における北海道の魅力発信事業」との連携等について検討した。 【食関連新技術導入促進事業】(財)北海道科学技術総合振興センターが、市内食品製造業者と協同で実施する新製品、新技術の研究・開発事業(モデルプロジェクト)に対して補助を行う(補助率2分の1)。 【見本市出展支援事業】FOODEX JAPAN 2008出展 日時:平成20年3月11日～14日 食品見本市出展実行委員会を組織し、市内・道内企業17社で出展した。 【「スイーツの街」発信事業】平成19年9月7日から9日の3日間大通西2丁目オープンカフェ型のイベントとして開催した。札幌スイーツのみならず、北海道の新鮮なフルーツを使ったスイーツや独自文化を持つ神戸スイーツなども提供した。			【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】スイーツ王国さっぽろ推進協議会へ負担金を支出。同協議会では、スイーツコンペティション、スタンプラリー、さっぽろスイーツPR事業のほか、参加企業増加のための活動を行う。 【「食のまち」札幌の発信拠点整備事業】市民まちづくり局企画課で進めている「都心部における北海道の魅力発信事業」との連携を含め、より良い実施形態について検討を続ける。 【食関連新技術導入促進事業】19年度と同様、2件のモデルプロジェクトを実施予定。 【見本市出展支援事業】北洋銀行インフォメーションバザール出展 日時:平成20年9月10日～11日 東京にて首都圏を中心とした有力バイヤーとの商談会を開催する。 食品見本市(スーパーマーケット・トレードショー2009)出展 日時:平成21年2月11日～13日 食品小売・卸を主対象とした見本市(スーパーマーケット・トレードショー)に出展する。 【「スイーツの街」発信事業】内容については基本的には継続して実施するが、今年度から新たに開催される「さっぽろオータムフェスタ2008」と同時期に実施するよう、日程等詳細について現在検討しているところである。			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数		85社	130社	145社	160社	170社	170社
「食のまち」札幌発信拠点の整備		-	-	-	-	整備	整備
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】スイーツスタンプラリーなど、市民参加型のイベントを実施している。 【見本市出展支援事業】企業と行政が連携して募集から出展まで一貫した事業展開を実施している。 【「スイーツの街」発信事業】イベントを通じて出展した店舗に市民が来店するようになるなど、市民の「食のまち・札幌」への理解促進が期待できる。 企業等との連携・協働 【資金協力】【食関連新技術導入事業】本事業の補助により、道外に販売を展開していく成功モデルが創出される。 【「スイーツの街」発信事業】本事業により、小規模の業者が多いお菓子業界全体の活性化とともに「さっぽろスイーツ」のブランド化を促進することが期待できる。 【人材協力】【食関連新技術導入事業】モデルプロジェクトの実施に当たっては推進会議を定期的開催しており、(財)北海道科学技術総合振興センターのアドバイザーから担い手企業への助言が行われている。 【情報協力】 【その他の協力】 市民・企業等が参加しやすい環境づくり 【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】協議会ホームページでの情報発信や、パンフレット等の配布により市民参加を促している。 【見本市出展支援事業】経済団体、業界団体、金融機関はもとより、HPも利用しながら事業の周知に努めている。 【「スイーツの街」発信事業】「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」と連携することで、協議会に参加している業者が参加しやすいしくみとなっている。							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	2-3-1	事業名	「食のまち」札幌の推進			
評価(成果)			課題			
<p>【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】協議会の他の構成団体と一体となった取り組みを行うことで、「スイーツの街・さっぽろ」の実現さらには食関連産業の活性化に貢献している。</p> <p>【「食のまち」札幌の発信拠点整備事業】場所・運営方法等について、検討中。引き続き、より良い実施形態についての検討が必要である。</p> <p>【食関連新技術導入促進事業】道産食材の付加価値を市内で高め、道外に展開していく成功モデルを創出し、その効果を波及させることで、本市の食関連産業が対外的に高い商品企画力と競争力を持つ外貨獲得型産業へと成長することに寄与している。</p> <p>【見本市出展支援事業】単独での見本市・商談会出展が困難な市内中小企業に対して、国内外の有力パイヤーとのマッチングの場を提供し、外需獲得、販路拡大に貢献している。</p> <p>【「スイーツの街」発信事業】平成19年度に初めて開催されたにも関わらず、3日間で27,000人の来場者があった。来場者アンケートではイベントに対する評価はスイーツの数・価格、会場の雰囲気項目で6割以上の方が満足しており、継続開催した際の参加意向の項目では66%の方が参加を希望しており、概ね好評であった。</p>			<p>「札幌の食」をブランドとして確立し、競争力のある外需型産業へ育成させるため、食品加工の新技術の開発、製品化、販路拡大までを一貫して支援するような総合的支援策の検討が必要である。</p>			
今後の事業の予定・方向						
<p>「札幌の食」のブランド化、販路拡大に向けて、総合支援事業の実施について検討していく。</p> <p>「スイーツの街」発信事業については、平成20年度から開催される「さっぽろオータムフェスト」とのさらなる連携について実行委員会で検討し、平成21年度以降の開催について検討していく。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	17,400	26,200	26,200	26,200	96,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	17,400	26,200	26,200	26,200	96,000
予算	事業費	17,400	27,640	-	-	45,040
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債	0	0			0
	その他	0	0			0
	一般財源	17,400	27,640			45,040
実績	事業費	20,292	-	-	-	20,292
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債	0				0
	その他	0				0
	一般財源	20,292				20,292
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				49.9%
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
<p>[19年度]【食関連新技術導入促進事業】モデルプロジェクトとして適した案件のみ実施したこと、実際に事業を進めていく中で経費節減が図られたことにより、決算額が予算額を下回った。</p> <p>【「スイーツの街」発信事業】当初予算及び計画に計上していなかった「さっぽろオータムスイーツファンタジー」開催に係る経費を他の事業費の節減により捻出し、19年9月に開催したため、計画事業費を上回る決算額となった。</p> <p>[20年度]当初の予定通り実施予定。</p>						